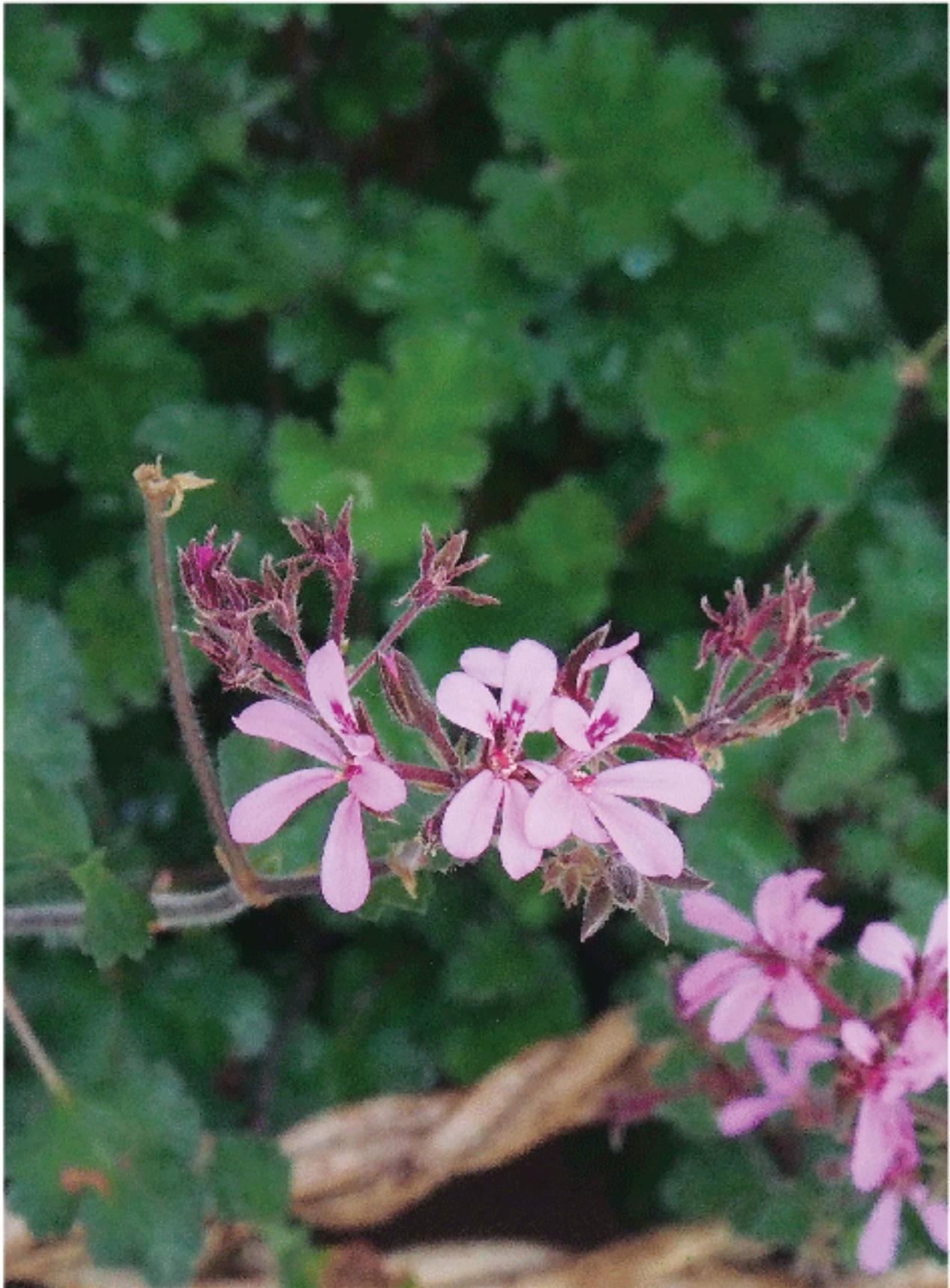




【花期 4~10月】常緑小低木



ローズゼラニウム

2015.7.21小諸

## センティッドゼラニウム —— 〈フウロソウ科ペラルゴニウム属〉

ペラルゴニウム属ぞく なか とくの中で特に芳香ほうこうを放つ種類はな しゅるい そうしゆの総称。【77】

■別名ニオイゼラニウム、ニオイテンジクアオイ。【58】【77】

■ローズゼラニウム＝バラの香りをもつ品種。菓子やジャム、アロマテラピー用のエッセンシャルオイルとしても利用される。【77】

レモンゼラニウム＝レモンのようなすっきりとした香りがする。【77】

ライムゼラニウム＝ライムのような香りがある。葉のふちに細かいトゲがある。【77】

アップルゼラニウム＝青リンゴのような香りがある。枝を横向きに這うように出す。【77】

パインゼラニウム＝葉茎に触れるとパイン(松)に似た芳香が周囲に漂う。葉は葉脈に沿って濃い茶色の斑が入る。【79】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
センティッドゼラニウム					●							

【花期 11月～初夏】 常緑小低木～低木



ローズマリー

2003.9.14長野



立性タイプ

2015.2.26小諸

**ローズマリー** rosemary 別名マンネンロウ 〈シソ科マンネンロウ属〉

地中海沿岸地方原産。わが国には江戸時代の終りに渡来。全体に芳香があり、匍匐性タイプと立性タイプがある。立性種は高さ約1m。葉は対生、線状、裏面に綿毛。花は唇形、色は淡紫色や淡青色など種類が多い。【5】【58】【59】【60】

■海に近い場所に育ち、淡い青色の露のような花を咲かせることからラテン語で「ロスマリヌス Rosmarinusu (海のしずく)」と呼ばれた。【58】

■漢名迷迭香＝マンネンロウ。【18】 ■英名Rosemary＝ローズマリー。【58】

■枝や葉を香料に用いる代表的なハーブである。【58】

■葉から香油を採り、香水や石鹸などに、また香草として肉料理などに用いる。【5】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ローズマリー	●●●●	●●●●	●●●●		●	●	●●	●	●			●

【花期 9～12月】



ローゼル

2016.9.11妻籠宿



花 葉 葉は5深裂だが「ローゼル」の名札がついていた

2016.9.11妻籠宿

**ローゼル** —— 〈アオイ科フヨウ属〉

アフリカ西北部原産とされる一年草または多年草。茎は普通赤みを帯びる。高さ1～3m。葉は互生、長楕円形のものとしんれつものが混じる。花は葉腋につく、径10cmほど、花色はクリーム色あるいは赤みがかかったもの、いずれも中心が暗い褐色。花の後は果実を包む鮮やかな紅紫色の萼が厚く肥大する。【58】【77】【78】

■学名 *Hibiscus sabdariffa*。【58】

■ハイビスカスと同じアオイ科ヒビスク属の植物。【77】

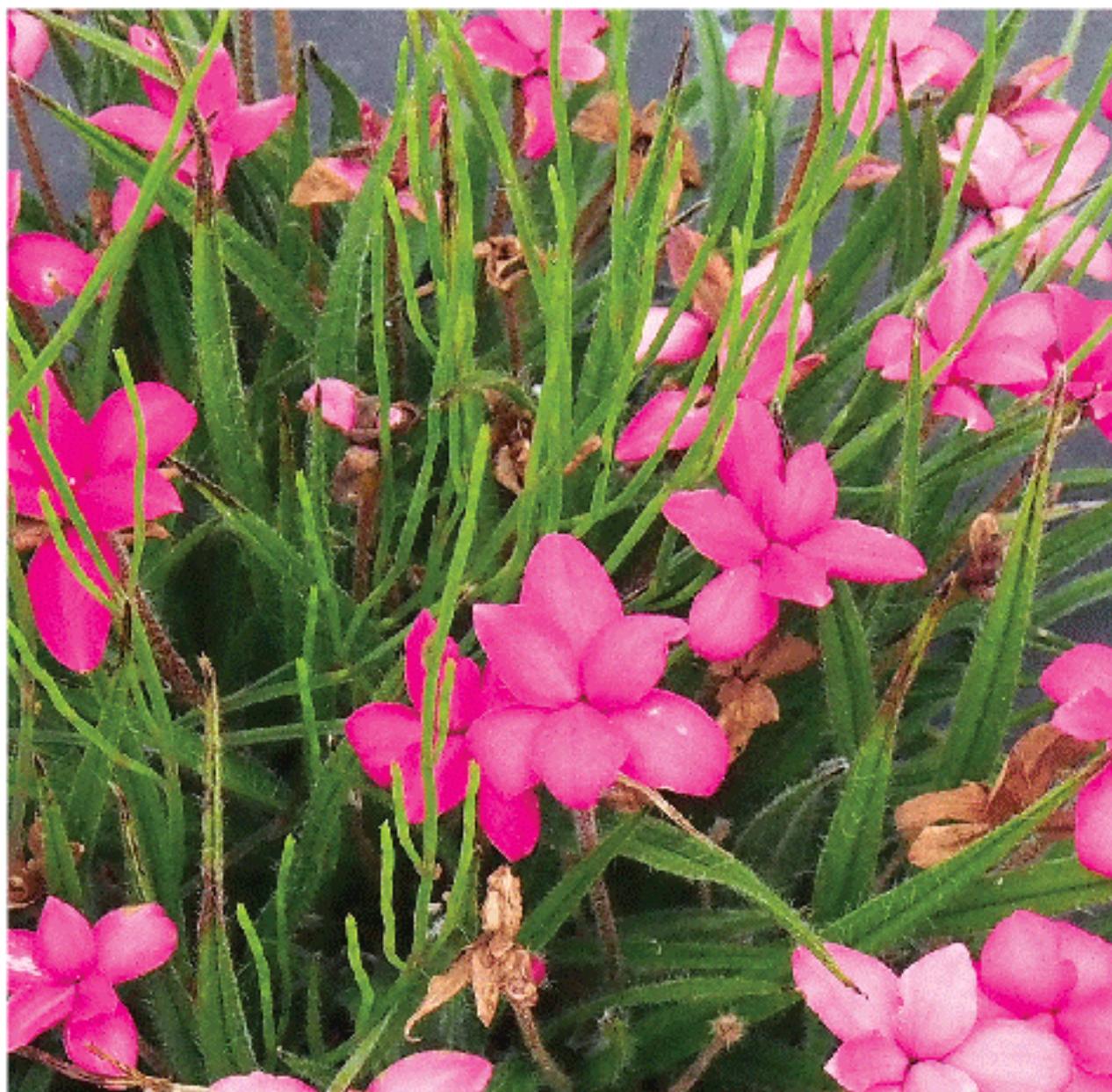
■肥厚した萼片は食料となり、ジャムや西洋料理のソース等に利用される。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ローゼル							●					





【花期 4~6月】



ロードヒポキシス・パウリー

2015.7.3池田



アッツザクラ・マーガレットホワイト

2015.7.21小誌

**ロードヒポキシス** — 別名アッツザクラ(ユリ科ロードヒポキシス属)

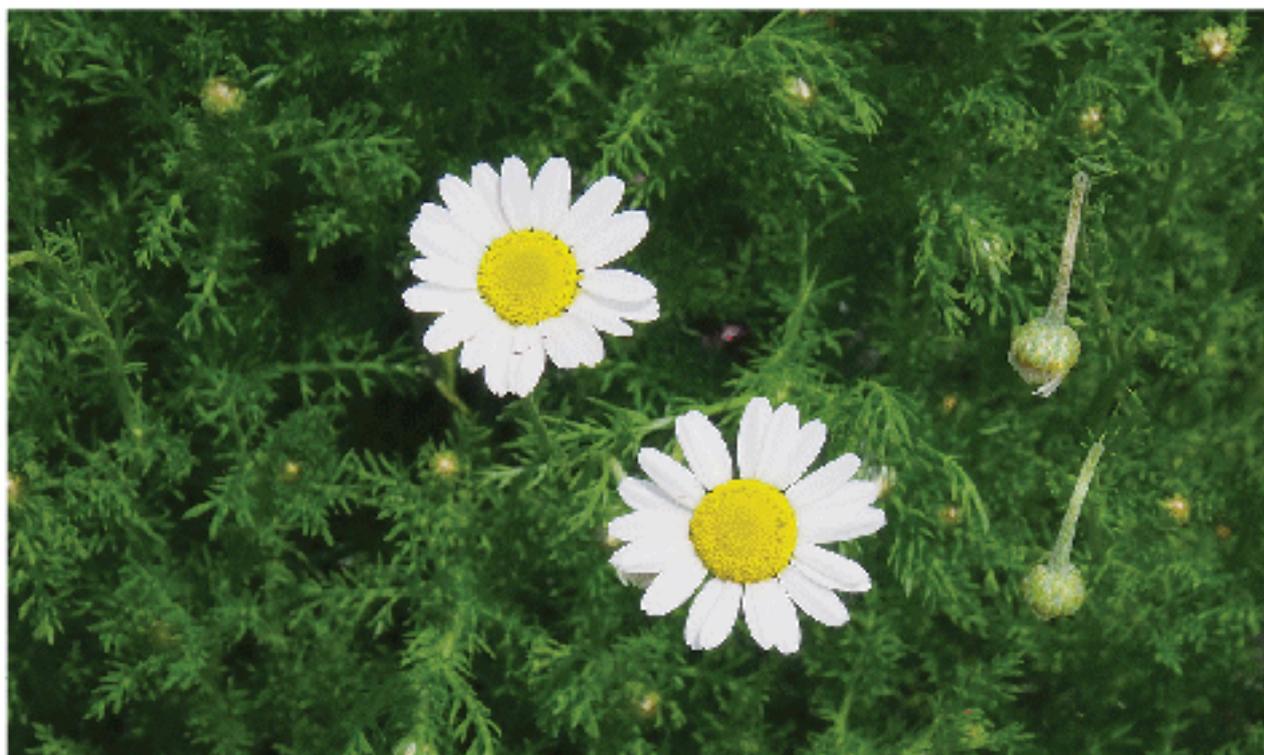
みなみ げんさん たねん そう えん けい はるう きゅうこん あつか  
 南アフリカ原産の多年草。園芸では春植え球根として扱われる。  
 たか は ちざわ そうせい けんけい ひしんけい なが  
 高さ8~15cm。葉は地際から叢生、剣形~披針形、長さ7~9cm、  
 ぜんたい しろ なんもう は かけい せんたん はな はな  
 全体に白い軟毛が生える。花茎をのばし、先端に花をつける。花  
 けい かいへん こ お め めだ はないろ  
 は径2~3cm、花被片6個、雄しべも雌しべも目立たない、花色は  
 はくしよく いろ あかいろ こ あかいろ  
 白色、ピンク色、赤色、濃い赤色など。【58】【77】【83】【84】

■学名Rhodohypoxis baurii。【84】

■ロードヒポキシスは、ギリシア語のロードン(バラ色)とヒポキシス(コキンバイザサ属)の植物・花は黄色)からなり、「バラ色のヒポキシス」の意。【44】

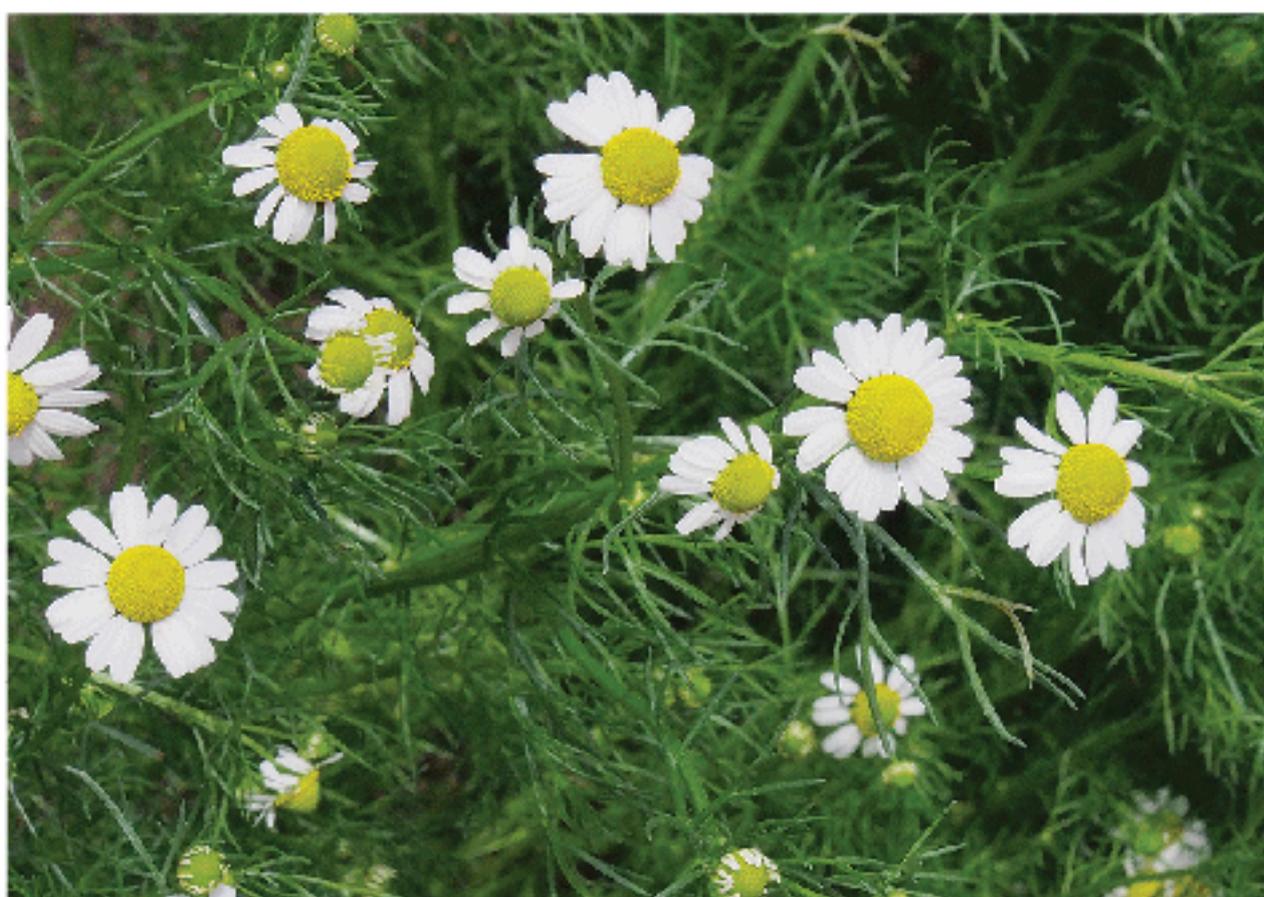
花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ロードヒポキシス					●	●						

【花期 ジャーマン種4～6月 ローマン種6～7月】



ローマンカモミール 葉も甘い芳香を放つ【77】

2015.6.13小諸



ジャーマンカモミール 花にはリンゴのような甘い香り【77】 2016.5.5中津川

## カモミール — 別名カミツレ 〈キク科カミツレモドキ属〉

ハーブとして親しまれているものには**ジャーマンカモミール**と**ローマンカモミール**の2種がある。花や葉姿、性質はどちらも似るが、属が異り、分類上は全く別の植物。【77】

■**ジャーマンカモミール** アトリカリア属。一年草。高さ30～90cm。葉は互生、2～3回羽状複葉、大きく切れ込み線形。頭花は径2～3cm、中心の筒状花は咲き進んでいくと盛り上がる、花が終わってくると花弁が下がる。【77】【84】【114】

■**ローマンカモミール** アンテミス属。常緑多年草。匍匐性。高さ15～30cm。葉は互生、2～3回羽状複葉、大きく切れ込み線形。花だけでなく葉も甘い芳香を放つ。【77】【84】【114】

■名は、ギリシア語で「大地のリンゴ」を意味する「カマイメロン」に由来。【77】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
カモミール			●	●	●	●	●					





【花期 7~10月】 落葉小低木



花

2015.8.5須坂



葉 長さ3~6cm【82】 2015.8.5須坂



ロシアンセージ 花序長20~30cm【84】

2015.8.20長野

### ロシアンセージ — 〈シソ科ペロフスキア属〉

東ヨーロッパ~西アジア~南西アジア原産。株は根元で分枝、直立、全体が白っぽい。高さ70~150cm。葉は対生、羽状に深く切れ込む、灰緑色。葉腋から花茎をのぼす。花は穂状、薄紫色~青紫色、萼には細かい毛が生える。【58】【83】【84】

■学名 *Perovskia atriplicifolia* (ペロフスキア・アトリプシリフォリア)。【84】

■ロシアンセージと名前にセージとついているが、セージの仲間ではないし、ハーブとして利用されない。ロシアに自生もない。【84】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ロシアンセージ						●●						



